

開 催 要 領

1. 日 時 2019年9月18日(水) 13:30~18:30
(受付13:00~)
 2. 会 場 大阪府立大学 I-site なんば 2F
所在地: 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル2F
※会場詳細は会場案内をご覧ください
 3. 主な次第
 - (1) 開 演 主催者挨拶・次第説明 13:30~13:40
 - (2) 講 演 13:40~16:45
 - ① 『大阪府立大学ものづくりイノベーション研究所紹介』 13:40~13:55
森本 茂雄 ものづくりイノベーション研究所 研究所長 工学研究科 教授・工学研究
 - ② 『表面構造を制御した超合金上へのTi系硬質膜の低温形成』 13:55~14:30
講師 齊藤 丈靖 大学院工学研究科 物質・化学系専攻 化学工学分野 教授
講演概要: 母材となるWC-Co基板に強酸やCF₄プラズマ等で前処理を行うことで表面の組成や微細構造を変化させた後、スパッタ法およびRF(高周波)プラズマCVD法を用いて500℃程度の低温でTi系硬質膜をコーティングすることに成功しました。発表では、基板表面および膜物性と密着性の関係を紹介します。
 - ③ 『医用・環境応用にむけた新規水酸化物材料の開発
~水溶液中でのナノ結晶合成とその3次元構造構築~』 14:30~15:05
講師 徳留 靖明 大学院工学研究科 物質・化学系専攻 マテリアル工学分野 准教授
講演概要: 水溶液中における簡単な化学反応で合成可能な新規(水)酸化物ナノ結晶を開発しています。本材料は、粒子のサイズ、形状、表面状態、さらにはその集合形態(3次元構造)を制御することで、特異な物性が発現します。発表では、材料合成手法に加えてそれらの環境浄化剤や医用分野への応用展開例を紹介します。
 - ④ 『次世代ものづくり基盤技術のICT/IoT技術について』 15:20~15:55
講師 土井 智晴 大阪府立大学工業高等専門学校 総合工学システム学科
メカトロニクスコース 教授
講演概要: 次世代ものづくりには、AI技術が必須と言われています。それに備えるためにも現時点からICT/IoT技術を社内で習得し、ICTスキルをもつ従業員を育成することが重要であると考えています。そこで、現在、安価で利用できるプログラミング教材を紹介しながら、その教材を使ったIoT計測の事例を紹介します。
 - ⑤ 『機械学習・理論計算・フロー光化学に基づく
有機半導体材料の新規開発』 15:55~16:30
講師 池田 浩 大学院工学研究科 物質・化学系専攻 応用化学分野 教授
講演概要: 私たちは、フローリアクターを用いた光反応の活用による有機半導体材料の新規開発を行っています。最近、私たちと他の学内グループは、アモルファス固体における正孔移動度 μ の実測値を理論的に予測できる新規手法を共同で開発しました。発表では、機械学習による事前の分子設計も含め、これらの研究手法が有機半導体材料の新規開発に有用であることを紹介します。
 - ⑥ 『大阪府立大学の新産官学金連携モデルのご紹介』 16:30~16:45
辻川 正人 研究推進機構 URAセンター長 教授
 - (3) ポスターセッション(質疑応答) 16:45~17:30
 - (4) 交 流 会 参加者全員による懇親会 17:30~18:30
4. 募集対象 中堅・中小企業の経営者および技術者・研究者の方を優先します。
5. 定 員 80名程度(先着順:但し定員になり次第締め切りとさせていただきます)
6. 参加申込 参加申込書をE-mail (staff@resona-fdn.or.jp) 又は FAX(03-3444-9546)でお送り下さい。